



---

ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社  
**2016年1月期 決算補足資料**

---

証券コード:3657  
銘柄略称:ポールHD  
2016年3月8日

1. **2016年1月期 通期連結決算概況** … 2
2. **2017年1月期 通期連結業績予想** …10
3. **今後の事業戦略** …12
4. **<参考>会社概要・事業内容** …16

## 1-1. 2016年1月期 通期連結業績概況 (前期比) (1)

単位:百万円(単位未満切捨)

	【当期】 2016/1期 通期 (2015.2-2016.1)		【前期】 2015/1期 通期 (2014.2-2015.1)		前期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	増減率
売上高	<b>18,120</b>	- %	<b>14,753</b>	- %	<b>+ 3,367</b>	<b>+22.8%</b>
営業利益	<b>2,360</b>	13.0%	<b>1,861</b>	12.6%	<b>+ 498</b>	<b>+26.8%</b>
経常利益	<b>2,228</b>	12.3%	<b>1,879</b>	12.7%	<b>+ 349</b>	<b>+18.6%</b>
当期純利益	<b>1,286</b>	7.1%	<b>1,000</b>	6.8%	<b>+ 285</b>	<b>+28.6%</b>

※比率については表示単位未満を四捨五入

## 1-2. 2016年1月期 通期連結業績概況 (予想比)(2)

単位:百万円(単位未満切捨)

	【実績】 2016/1期 通期 (2015.2-2016.1)		【業績予想】 2016/1期 通期 (2015.2-2016.1)		予想比	
	実績	利益率	期初予想	利益率	差額	達成率
売上高	<b>18,120</b>	- %	<b>17,881</b>	- %	<b>+238</b>	<b>+1.3%</b>
営業利益	<b>2,360</b>	13.0%	<b>2,293</b>	12.8%	<b>+66</b>	<b>+2.9%</b>
経常利益	<b>2,228</b>	12.3%	<b>2,304</b>	12.9%	<b>△75</b>	<b>△3.3%</b>
当期純利益	<b>1,286</b>	7.1%	<b>1,387</b>	7.8%	<b>△100</b>	<b>△7.2%</b>

※比率については表示単位未満を四捨五入

# 1-3. 2016年1月期 通期セグメント別業績概況

## デバッグ・検証事業

売上高 14,637百万円(連結売上構成比80.8%)

	【当期】 2016/1期 通期 (2015.2-2016.1)	【前期】 2015/1期 通期 (2014.2-2015.1)	前期比	
			増減	増減率
売上高	14,637	11,278	+3,358	+29.8%
営業利益	2,403	1,775	+628	+35.4%
営業利益率	16.4%	15.7%	+0.7%	—

単位:百万円(単位未満切捨)  
比率については  
表示単位未満を四捨五入

## ネット看視事業

売上高 3,294百万円(連結売上構成比18.2%)

	【当期】 2016/1期 通期 (2015.2-2016.1)	【前期】 2015/1期 通期 (2014.2-2015.1)	前期比	
			増減	増減率
売上高	3,294	3,325	△30	△0.9%
営業利益	27	121	△93	△77.2%
営業利益率	0.8%	3.6%	△2.8%	—

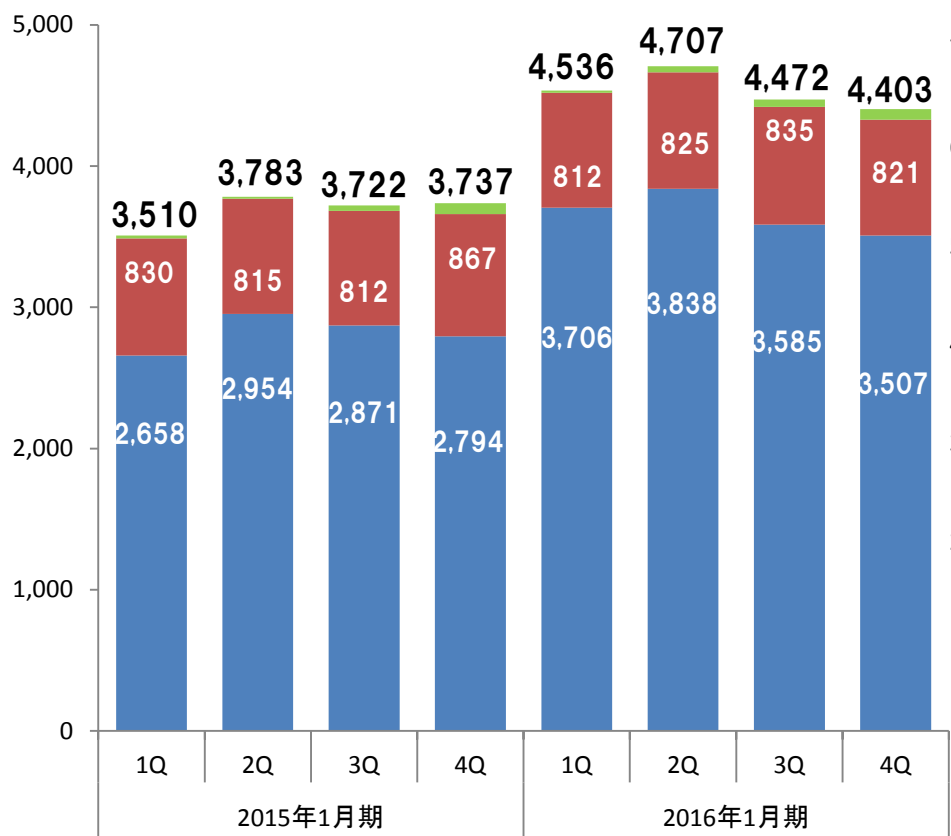
単位:百万円(単位未満切捨)  
比率については  
表示単位未満を四捨五入

# 1-4. 四半期業績推移(売上高・営業利益)

(単位:百万円、単位未満切捨)

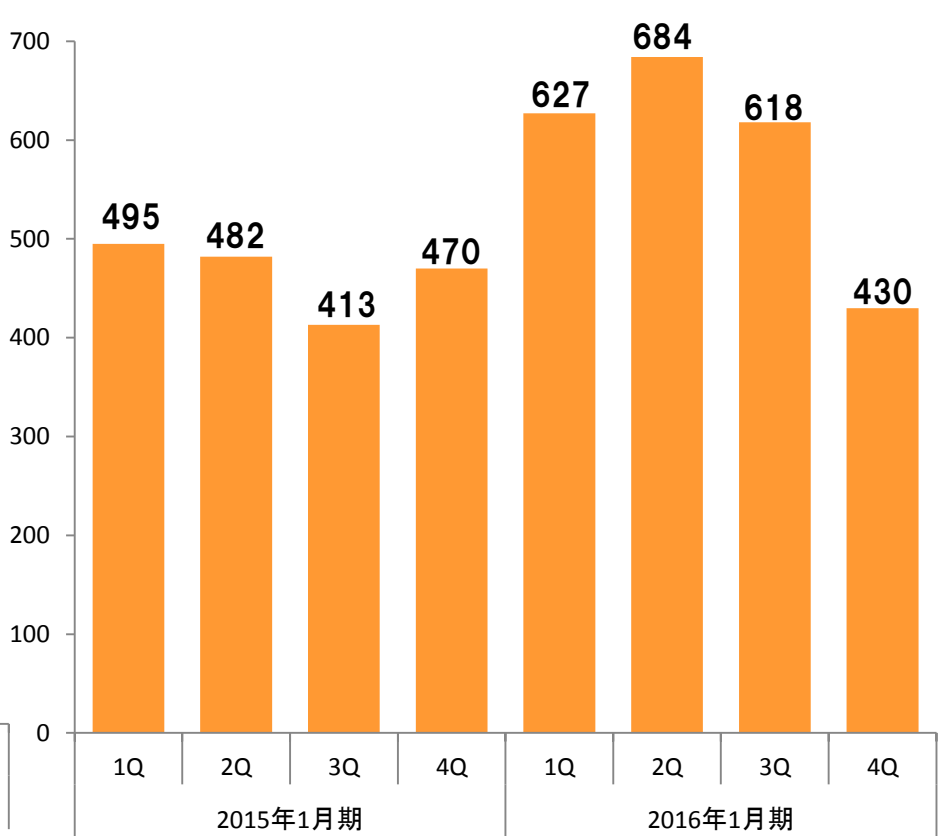
- デバッグ・検証事業
- ネット看視事業
- その他

## 売上高 四半期推移



(単位:百万円、単位未満切捨)

## 営業利益 四半期推移



(注)四半期会計期間の売上高、営業利益は、社内管理数値による参考情報です。

# 1-5. 財政状況 連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切捨)

	2016/1期末	2015/1期末	増減額
<b>流動資産合計</b>	8,936	7,960	+975
(うち現金及び預金)	5,636	5,343	+292
有形固定資産	491	424	+67
無形固定資産	2,144	1,554	+590
投資その他の資産	744	579	+165
<b>固定資産合計</b>	3,381	2,557	+823
<b>資産合計</b>	12,317	10,518	+1,799
<b>流動負債合計</b>	2,538	2,036	+501
<b>固定負債合計</b>	261	60	+201
<b>負債合計</b>	2,800	2,097	+702
<b>純資産合計</b>	9,517	8,421	+1,096
(うち資本金)	1,236	1,236	+0
(うち資本剰余金)	1,282	1,282	+0
(うち利益剰余金)	6,258	5,276	+982
<b>負債純資産合計</b>	12,317	10,518	+1,799

# 1-6. 財政状況 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切捨)

	2016/1期 (2015.2-2016.1)	2015/1期 (2014.2-2015.1)	前期比
営業キャッシュ・フロー	1,623	1,326	+297
投資キャッシュ・フロー	△995	△686	△308
財務キャッシュ・フロー	△304	△298	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	43	△74
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>292</b>	<b>383</b>	<b>△90</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,343	4,959	+383
現金及び現金同等物の期末残高	5,636	5,343	+293



## 1-7. 株主還元(配当予想)

### 配当政策

連結当期純利益に対し、**配当性向25%**を目途

### 1株当たりの年間配当金の推移

2013年1月期  
実績

**15円**

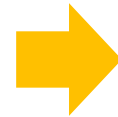
(普通配当13.5円  
+記念配当1.5円)



2014年1月期  
実績

**16円**

(普通配当16円)



2015年1月期  
実績

**16円**

(普通配当16円)



2016年1月期  
予想

**18円**

(配当性向26.6%)  
(普通配当18円)

(注)当社は2014年1月9日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、2013年1月期の配当金額については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

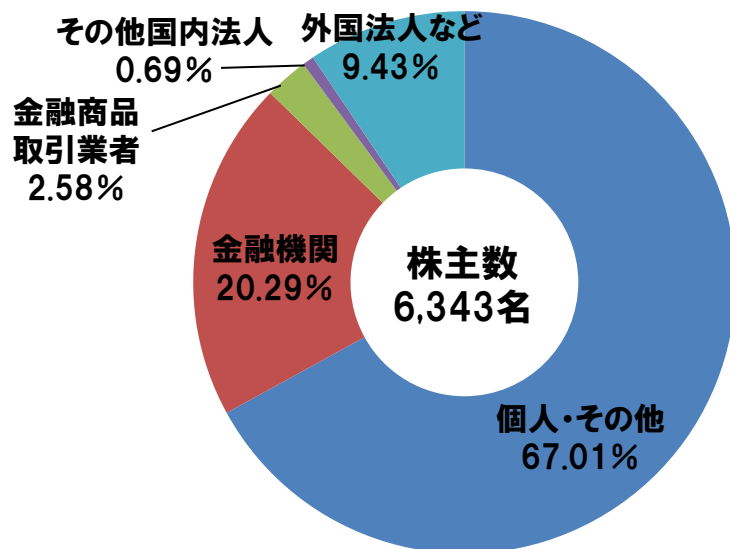
# 1-8. 当社株式の状況

## ■株式の状況(発行済株式総数)

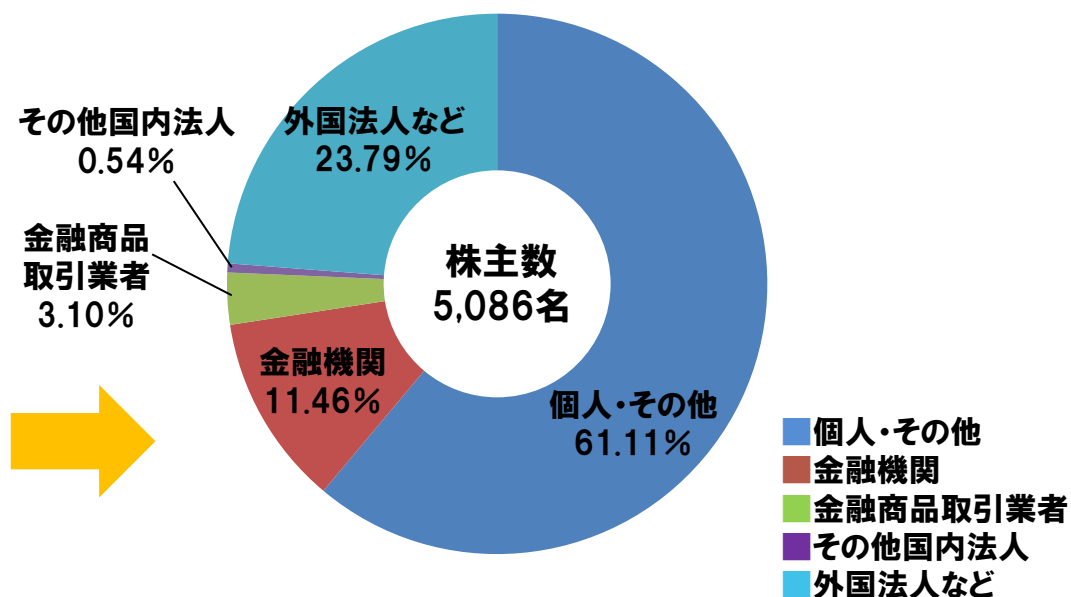
2015年1月末現在	19,041,200株
2016年1月末現在	19,043,200株

## ■所有者別株式分布状況

■前期末(2015年1月末)



■当期末(2016年1月末)



(注)両グラフとも単元未満株式を除いた株式数に基づいて作成しております。

## 2-1. 2017年1月期 通期連結業績予想

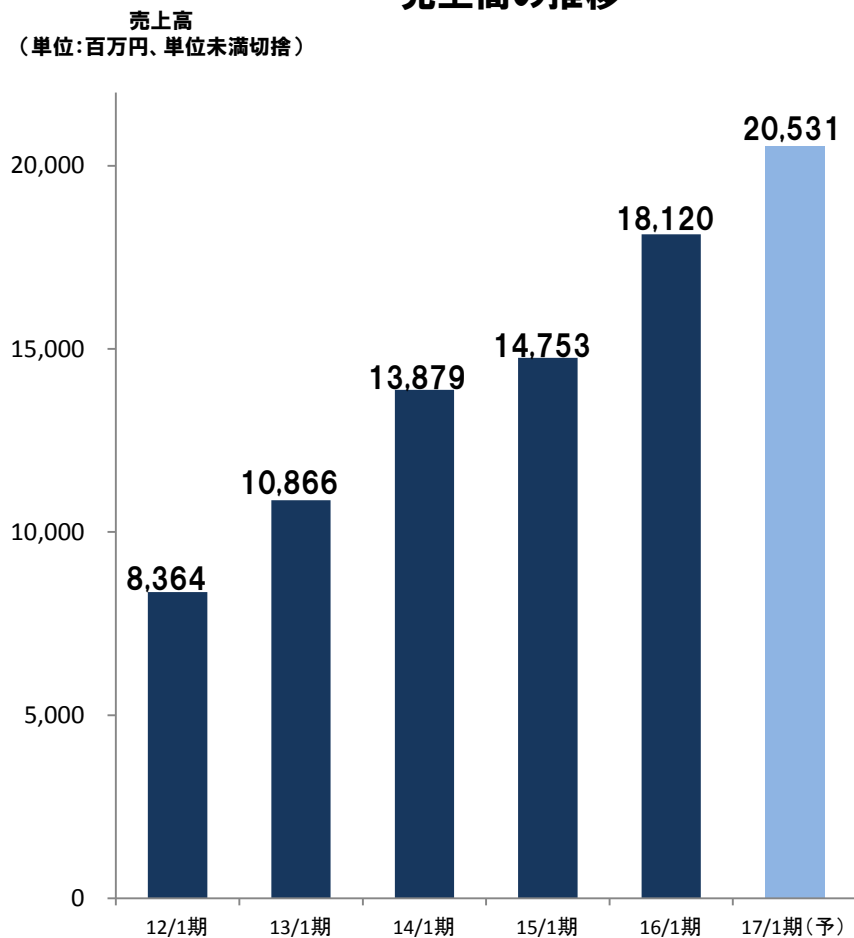
単位:百万円(単位未満切捨)

	2017/1期 通期予想	2016/1期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	<b>20,531</b>	<b>18,120</b>	<b>+2,411</b>	<b>+13.3%</b>
営業利益	<b>2,466</b>	<b>2,360</b>	<b>+106</b>	<b>+4.5%</b>
経常利益	<b>2,386</b>	<b>2,228</b>	<b>+158</b>	<b>+7.1%</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>1,378</b>	<b>1,286</b>	<b>+92</b>	<b>+7.1%</b>
1株当たり当期純利益	<b>72.40円</b>	<b>67.58円</b>	<b>+4.82円</b>	<b>—</b>
1株当たり配当	<b>19円</b>	<b>18円</b>	<b>+1円</b>	<b>—</b>

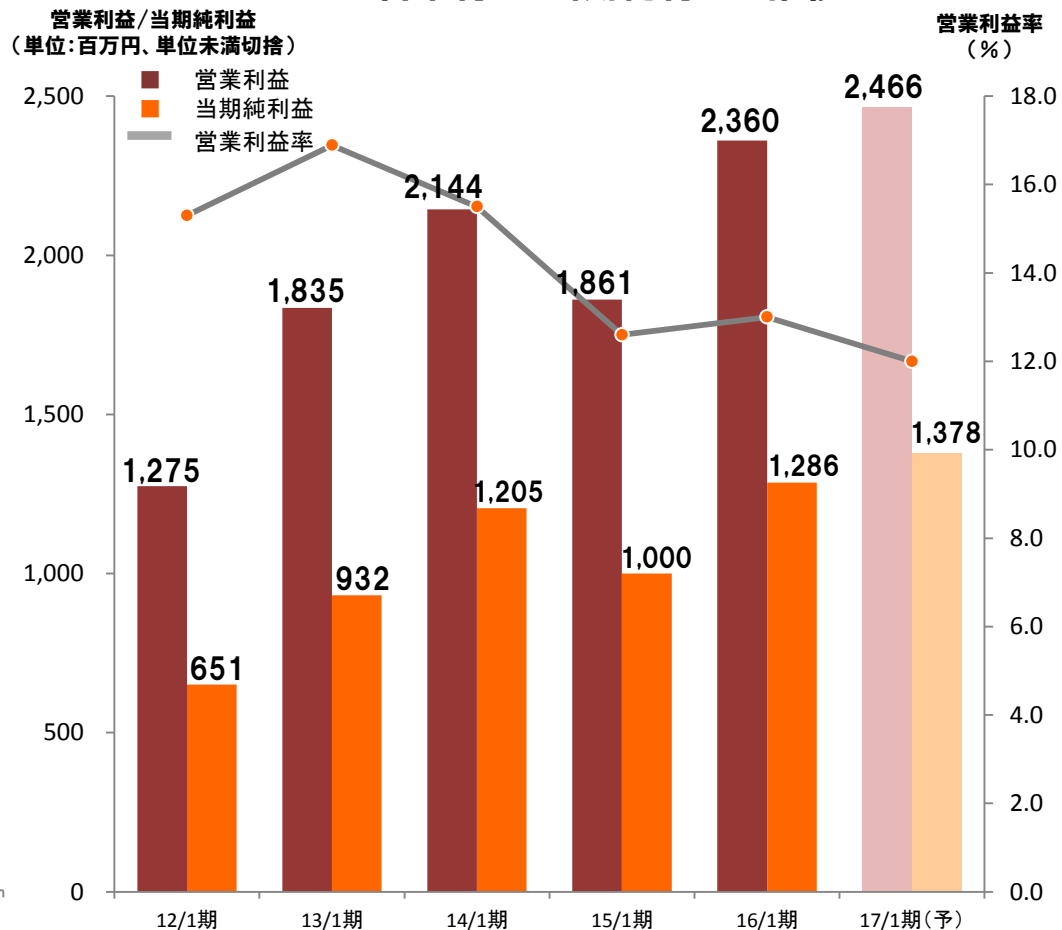
※比率については表示単位未満を四捨五入

## 2-2. 通期連結業績の推移、計画

### 売上高の推移



### 営業利益・当期純利益の推移



(注)17/1期は16年3月8日公表の業績予想を参考情報として記載しております。

## 3-1. 今後の事業戦略 サマリー

**顧客バリューチェーンに着目して**

**1 BPOサービスを拡充し、  
1顧客毎の取引増加を図る**

**2 既存サービスの国内市場シェア拡大、  
顧客が必要とするBPOサービスを拡充する**

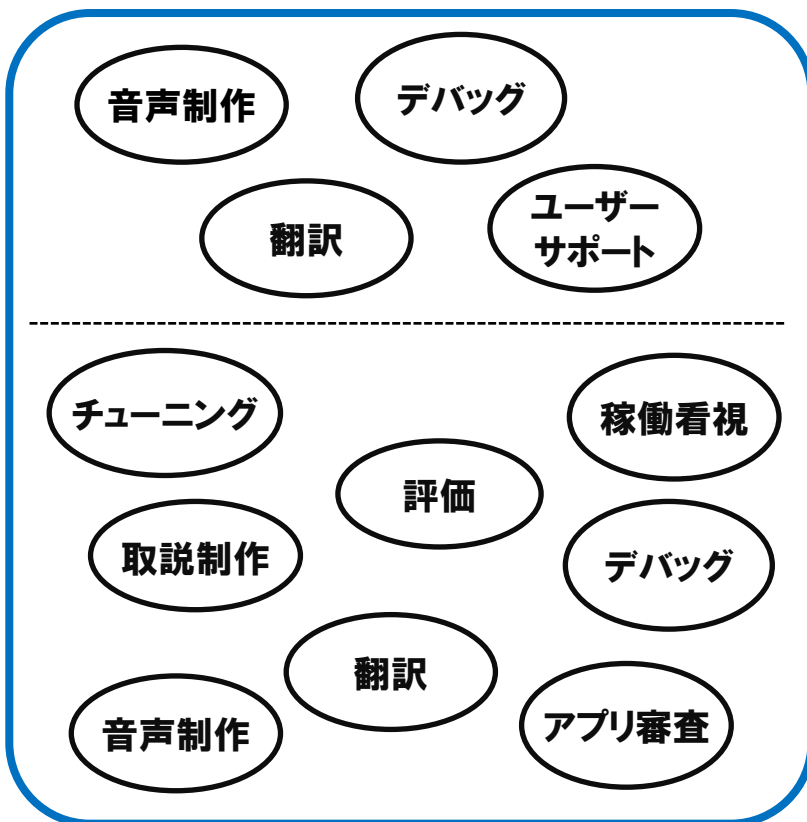
**3 掘り起し余地の大きい  
海外市場の営業開拓を強化する**

## 3-2. 現在の事業セグメント

グループ各社毎に事業推進する過程で、セグメント間で顧客やサービスが重複 ⇒ グループ一体営業の必要性がますます増加

海外BPO

国内BPO



デバッグ・検証事業



ネット監視事業

# 3-3. 今後の事業戦略の考え方(1)

顧客バリューチェーンに着目してBPOサービスを拡充して  
顧客にとって使い勝手のよいサービス提供⇒1顧客毎との取引増加



# 3-4. 今後の事業戦略の考え方(2)

今後3年の年平均売上高成長率は20%程度を想定  
成長戦略に基づく事業拡大を推進し、増収増益を目指す

新規市場

## ■ コアサービスで新市場開拓

コアサービスであるデバッグ・看視を、  
ゲーム・ネットにとどまらない業界へ展開

教育業界	デジタル教材デバッグ
家電業界	デジタル家電検証
出版業界	電子書籍デバッグ
生保損保業界	代理店HP審査



**新事業開拓**  
医療人材紹介  
バリアフリー関連事業  
B to B to Cビジネス  
etc.

**新市場へ  
新BPOサービス展開**

既存取引市場

## ■ 既存取引市場におけるシェア拡大

既存市場におけるシェア拡大、  
特にEC・海外ゲーム市場開拓を図る

ゲーム業界	デバッグ チューニング ローカライズ 投稿看視 コールセンター 広告審査 サーバー看視
アミューズメント業界	
ネットメディア業界	
EC業界	



## ■ 既存取引市場におけるBPOサービス拡充

コア取引業界に対して、デバッグ・看視の枠に  
とどまらない総合BPOサービスを拡充する

ゲーム業界	取扱説明書、攻略本制作
アミューズメント業界	開発補助業務、新機種風評調査
ネットメディア業界	FB、Twitterアクティブサポート
EC業界	フリマアプリ、越境EC、バックオフィス代行

既存サービス

新サービス



## 4-1. 会社概要

(2016年1月31日現在)

会社名	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社	
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 小西 直人	
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11F	
設立	2009年2月2日	
資本金	12億3,632万円（2016年1月31日現在）	
上場市場/コード	東京証券取引所市場第一部（証券コード:3657 銘柄略称:ポールHD）	
事業内容	<p>当社及び連結子会社22社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務</p> <p>【当社グループの主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デバッグ・検証事業 ソフトウェア・ハードウェアの品質向上のサポートをするため、不具合の検出を行う事業</li> <li>2. ネット看視事業 インターネットサイトの健全運営をサポートするために、違法有害情報や不正の検出を行う事業</li> <li>3. その他 出版・メディア、医療関連人材紹介に関する事業等</li> </ol>	
連結業績 (2016/1期)	売上高 : 181億2,000万円 経常利益 : 22億2,800万円 当期純利益 : 12億8,600万円	連結従業員数: 2,604人 （内正社員数1,030人、2016年1月31日現在）

## 4-2. グループの構成(連結子会社22社)

(2016年1月31日現在)

### ポルトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社

#### デバッグ・検証事業

#### ポルトゥウィン株式会社

株式会社猿楽庁  
ポルトゥウィンネットワークス株式会社  
株式会社キュービスト  
株式会社ゲームマスター

#### 株式会社クアーズ

#### Pole To Win International Limited

博特盈(上海)信息科技有限公司  
Pole To Win America, Inc.  
Pole To Win Singapore Pte. Ltd.  
Pole To Win Europe Glasgow Limited  
Pole To Win India Private Limited  
Pole To Win UK Limited  
Pole To Win Korea Co., Ltd.  
Side UK Limited

#### その他

#### ペイサー株式会社

株式会社第一書林  
IMAid株式会社  
Palabra株式会社

#### ネット看視事業

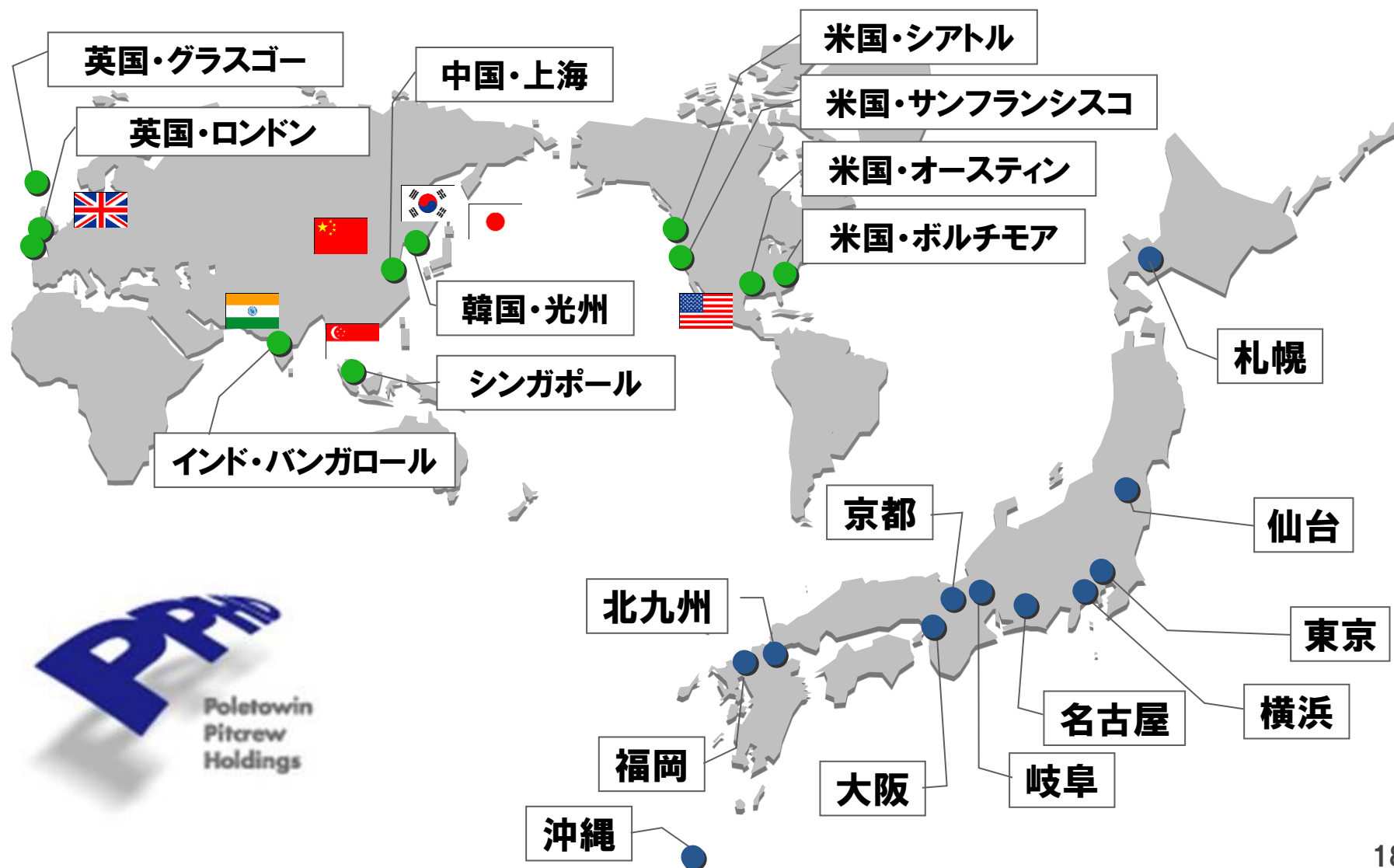
#### ピットクルー株式会社

ピットクルー・コアオプス株式会社  
ピットクルー・クロスラボ株式会社

## 4-3. 事業拠点(デバッグ・検証&ネット看視事業)

### ■ 国内11都市、海外6ヵ国11拠点で事業展開

(2016年1月31日現在)



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。